

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		川西市子どもの人権オンブズパーソン会議(第2回)	
事務局(担当課)		子どもの人権オンブズパーソン事務局 市民環境部 人権推進課 内(内線 3453)	
開催日時		令和3年12月10日(金) 午後1時30分～1時55分	
開催場所		川西市役所 2階 201会議室	
出席者	オンブズパーソン	堀家 由妃代(代表) 大倉 得史 三木 憲明 計3名	
	調査相談専門員	平野 裕子 大久保 遥 中村 誠吾 北村 寿江子 計4名	
	事務局	西村 弘行	
傍聴の可否		可	傍聴者数 3人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		<p>日程1 会議録署名人の選任について</p> <p>日程2 報告事項 2021年1月～11月の相談受付状況について</p> <p>日程3 協議事項 議案第3号 2021年次の運営状況等の報告及び公表について</p>	
会議結果		別紙、審議経過のとおり	

審 議 経 過

日程 1 会議録署名人の選任について

三木憲明オンブズパーソンが選任された。

日程 2 報告事項

2021年1月～11月の相談受付状況について

中村相談員より、2021年1月～11月の相談受付状況について、月別のケース数・相談者数（新規数・オンブズ発信数）・相談回数、相談者の内訳、相談の方法（回数）、取扱いケースにおける学齢別相談内容、相談者別の訴え内容（回数・割合）、ケースにおいて問題となっている関係（件数）などの集計表にもとづいて報告があった。

主な報告内容は、

- ・相談件数ではケース数で昨年と比べて減少（昨年71件→本年67件）し、相談回数も減少（昨年817回→本年714回）している。
- ・相談者数では、本年新規数が減少（昨年69人→本年62人）している。
- ・相談者内訳では、オンブズ発信が多かった。（昨年14件→本年18件）
- ・相談方法では、「くらぶ」での割合が増加（昨年23.5%→本年29.8%）し、電話での相談が減少（昨年37.0%→本年33.6%）している。
- ・相談内容においては、学齢別全体で見ると、「交友関係の悩み」「不登校」「進路問題」「心身の悩み」「学校・保育所等の対応」「子育ての悩み」「家庭生活・家族関係」が多く、小学生高学年以上になると「不登校」「進路問題」「家庭生活・家族関係」が増えてくる。
- ・相談者別の訴えにおいては、子どもでは「交友関係の悩み」「不登校」「家庭生活・家族関係」の相談回数が多くなっている。
おとなでは「不登校」「学校・保育所等の対応」「子育ての悩み」「家庭生活・家族関係」の相談回数が多くなっているが、特に、「不登校」「家庭生活・家族関係」は子どもと同様に相談割合が多いが、「学校・保育所の対応」は子どもの割合と比べても多くなっている。
- ・同時に、問題となっている関係においても、「交友関係」「不登校」「進路問題」「教職員からの指導上の問題」の訴えの多さから「子ども同士」「子どもと学校・保育所・教職員等」「親と学校・保育所・教職員等」の件数が多く、また「家庭生活・家族関係」の訴えから「子どもと親・家族」の件数も多く見られる。

日程3 審議事項

議案 第3号 2021年次の運営状況等の報告及び公表について

○議案説明

川西市子どもの人権オンブズパーソン条例第20条の規定により、2021年次における条例運営の状況について、市長への文書報告、及び公表を行うに当たり、その報告事項及びその内容について、オンブズパーソン会議の審議を図る必要があるため、本案を提出する。

○協議経過

2021年次の活動報告事項については、①年次報告書「子どもオンブズ・レポート2021」の章立てと編成内容(案)、②「年次活動報告会」(3月19日土曜日:アステホール)の開催企画(案)が提案された。

レポートでは、例年と同様としながら第Ⅰ章でコロナ下における子どもの意識調査結果をまとめた「コロナと子どもの人権(仮称)」を掲載する。Ⅱ章以下については例年どおりとし、事例紹介やオンブズからのメッセージを掲載するなど、原案のとおり、オンブズパーソンの全会一致により決定された。

「年次活動報告会」では、例年の活動報告に加えて、シンポジウム(【報告】コロナ下における子どもの意識調査結果、及び市内在住高校生等による【討論】「コロナ下における子どもの人権を考える」)について審議し、原案を基に、市民の意見なども参考にして実施することとして、オンブズパーソンの全会一致により決定された。

以 上